

令和4年度 研究集会

◎は研究代表者、☆は共同研究育成研究員

No.	研究課題名	研究代表者	所属機関	所属部署	職名	分野	受任責任教員等	開催開始時期(予定)	開催終了時期(予定)	開催場所
1	中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会	津田 卓雄	電気通信大学	大学院情報理工学研究科	准教授	宙空間	富川 喜弘	2022-09-28(令和4年9月の3日間程度)	2022-09-30	名古屋大学を予定、状況次第でオンライン。(4 研究集会合同実施に際して、利便性・旅費コスト・会場準備等を鑑み、名古屋大学で開催することとした。)
2	SuperDARN研究集会	行松 彰	国立極地研究所	研究教育系	准教授	宙空間	行松 彰	2022/09/15	2022/09/16	国立極地研究所またはオンライン、或いは、併用開催(共同主催機関の持回りを原則として例年開催しており、主催者間の協議の結果、今年度は上記での開催を希望する)
3	PANSY研究集会	佐藤 薫	東京大学	大学院理学系研究科	教授	宙空間	堤雅基	2023年3月頃	-	東京大学またはオンライン(極地研・東大の合同プロジェクトの研究会として交互開催しており、2019年度は極地研、2020・2021年度はオンラインで開催)
4	太陽地球系物理学分野のデータ解析手法、ツールの理解と応用	阿部 修司	九州大学	国際宇宙天気科学・教育センター	学術研究員	宙空間	田中良昌	2022年9～10月・2日間(2022-09-27)	2022-09-28	名古屋大学(4集会合同のため。状況に応じて、オンラインで開催)
5	EISCAT研究集会	小川 泰信	国立極地研究所	国際北極環境研究センター	准教授	宙空間	小川泰信	令和5年2～3月頃(2023-03-20)	2023-03-20	国立極地研究所
6	STE研究連絡会現象報告会および現象解析ワークショップ(極域を軸とする宇宙天気現象の予測精度向上に向けて)	西谷 望	名古屋大学	宇宙地球環境研究所	准教授	宙空間	片岡龍峰	令和4年9月1日	令和4年9月1日	名古屋大学(状況により、共同開催の他研究集会と調整の上、オンライン開催に変更の可能性あり)
7	氷床域における長期無人気象・雪氷観測および温暖化影響に関する研究集会	栗田 直幸	名古屋大学	宇宙地球環境研究所	准教授	気水圏	平沢 尚彦	2022年10月ごろ	-	国立極地研究所(ハイブリッド開催)
8	大気—雪氷—海洋間の物質交換・循環	的場 澄人	北海道大学	低温科学研究所	助教	気水圏	青木 輝夫	2022年10月3日	2022年10月4日	国立極地研究所
9	寒冷域における降雪観測や雪結晶の研究と教育の今後の展望	鳥田 亙	富山大学	理学部	准教授	気水圏	平沢 尚彦	令和4年12月16日	令和4年12月17日	国立極地研究所
10	南極エアロゾル研究会	原 圭一郎	福岡大学	理学部	助教	気水圏	平沢 尚彦	2022年7月26日	2022年7月27日	国立極地研究所
11	地上・衛星受信データからみる氷床上の降雪と表面融解にかんする研究	鈴木 香寿恵	法政大学		教務助手	気水圏	平沢 尚彦	令和4年8月22日(月)	令和4年8月22日(月)	国立極地研究所
12	南極領域スケール雪氷研究集会	杉浦 幸之助	富山大学	学術研究部都市デザイン学系	教授	気水圏	平沢 尚彦	令和5年2月17日	令和5年2月17日	国立極地研究所
13	2022年度エアロゾル・雲・降水に関する研究集会	荒木 健太郎	気象庁気象研究所	台風・災害気象研究部第二研究室	研究官	気水圏	當房 豊	令和5年2月17日	令和5年2月17日	国立極地研究所
14	無人機の利用による極地観測の展開	林 政彦	福岡大学	理学部	教授	気水圏	平沢 尚彦	2022/10/22頃	2022/10/22頃	国立極地研究所, Zoom
15	南大洋海水域における生物地球化学的研究のための鉄分観測技術の構築	西岡 純	北海道大学	低温科学研究所	教授	生物圏	平澤 享	令和4年10月1日	-	国立極地研究所
16	冷水性翼足類クリオネ属の基礎的学術研究の現状および将来計画に関する研究集会	高橋 邦夫	国立極地研究所		助教	生物圏	高橋 邦夫	2022年07月4日	2022年07月6日	国立極地研究所
17	自然科学系アーカイブズ研究会	工藤 栄	国立極地研究所	アーカイブ室	室長	生物圏	工藤 栄	令和4年8～10月(2022-09-01)	2022-09-02	国立極地研究所
18	2022年 南極医学・医療ワークショップ	大谷 真二	鳥取大学	国際乾燥地研究教育機構	准教授	生物圏	伊村 智	令和4年7月9日	令和4年7月9日	国立極地研究所 大会議室